タイムス少年サッカー新人戦

豊科南が準V 中信勢 攻撃面に課題も

第26回市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップは、初日の6日に続いて19日も冷たい雨の中での試合となった。中信勢は3位決定戦を除き、北・南信勢との3試合全てで完封負けし、新チームの課題が浮き彫りとなった。

豊科南SCは、決勝で前半に先制点を奪われ、後半は青木安里磨主将（豊科南小5年）や、丸山龍二（同）、滝沢大輔（同4年）らが何度も攻めたが、ゴール前の攻防でトップストーンの堅い守りに阻まれた。内田寿文監督は「その場で瞬間的に適切なボール回しを考えるスピードで、相手の方が勝っていた」と振り返った。

豊科南SCは、準々決勝で松本エスティーロを3―1で破り、準決勝ではFCセダックに2点を先行されながらも、後半に3点を奪い逆転勝ちする底力を見せた。それだけに、青木主将は「決勝戦では力を出し切れないまま相手のペースに合わせてしまった」と悔やみ、「もっと一つ一つのプレーを大切にしなければ」と話していた。

（小岩井貴之）

▽準々決勝
須坂 3（0―0 3―0）0 鎌田
トップストーン 2（2―0 0―0）0 筑摩野
セダック 2（1―0 1―0）0 旭町

▽準決勝
豊科南 3（1―0 2―1）1 エスティーロ
トップストーン 2（1―0 1―1）1 須坂
豊科南 3（0―1 3―1）2 セダック

▽決勝
トップストーン 1（1―0 0―0）0 豊科南

▽三位決定戦
須坂 3（0―2 3―0）2 セダック

5年ぶり2回目の優勝を果たしたトップストーン

決勝で惜しくも敗れ、準優勝となった豊科南SC

北信唯一の入賞となった3位のJFC須坂

4位となったFCセダック